

ひろしま 農林業振興 ニュース

第13号 H11 7/1 財団法人 広島市農林業振興センター 〒739-1751 広島市安佐北区深川八丁目30番12号
 Hiroshima City Agriculture and Forestry Promotion Center TEL(082)845-4770 FAX(082)842-2149
<http://www.hiroins-net.ne.jp/hiroagri/>

あなたも始めてみませんか!

ひろしまそだち 産地直売

「自分が作ったものを自分で売ることができる」
 こんな魅力ある農業を本センターは応援しています。

直売所は手作り/
 土地は地主さんの協力で確保。
 材料は皆で持ち寄って設置。



—「自分の目の前で売れていくのが嬉しい」—

広島市農林業振興センター・安佐北区役所・JAアグラスの勧めで、5年前に14戸の仲間と産地直売を始めました。代表の重平ヤエコさんは、「初めは売ることが恥ずかしかったけどお得意さんもたくさん出来、自分の目の前で売れていくのが嬉しくなりました。直売を始めてからは、規格外も売れるし、売れ残りもほとんどないので農業がより楽しくなりました」と語っていました。



「新鮮ね。おいしかったわ」
 「そうですか。ありがとうございます」
 —お得意さんとの
 気持ちの触れ合いは
 明日の意欲へつながります。—
 と皆さんの声。



「追崎グループ」の皆さん (安佐北区安佐町)

就任にあたって

財団法人 広島市農林業振興センター
 理事長 植野 耕司

4月1日付けで理事長に就任いたしました植野でございます。

財団法人広島市農林業振興センターは、新しい時代に対応した農業を展開するため、農林畜産物の特産化を図る「ひろしまそだち」の推進、次世代を担う若い農業経営者の育成、農作業の効率化を図るほ場の整備、良好な生活環境を実現するための農業集落排水処理施設の整備等、総合的な農業対策に取り組んでおります。

一方、市域の63%を占める山林においては、水源涵養・大気浄化など森林の持つ多様な機能を生かす環境に配慮した市有林の育成・活用に努めております。

さらに、東区の「森林公園」、安佐北区の「花みどり公園」においては、職員が一丸となって、市民の皆様へ「緑あふれる憩いの場」として親しんでいただけるよう頑張っております。

さて、皆様ご承知の「ひろしまそだち特産化事業」では、農家の皆様に農産物直売所の設置を働きかけているところですが、始められた多くの方々から明るい話題が出るようになってまいりました。

本センターでは、このように、農家の皆様に元気を出していただけるような支援を積極的に行ってまいりたいと考えております。

どうか、今後とも、よろしく願いいたします。

ほ場整備を契機に明るく活力ある農村環境をめざして！ 本市初！農村住環境の整備

—安佐北区白木町下三田地区(福永・宮原・林工区)—

当地区は本市で初めてほ場整備+市民農園+住宅団地がセットで整備され、
活気ある地域に生まれ変わりました。

役員の山出英雄さんは、「途中、難しい問題が沢山ありました。でもどうし
ようもないふけ田や進入路のない田が立派に改善され、市民農園や住宅団地
までできたことを思うと感慨深いものがあります。今後は、この財産を生か
せるようみんなで元気を出していきたい」と語っていました。

☎建設部基盤整備課(☎845-4348)



ほ場整備された水田



市民農園



造成された住宅用地



役員の山出英雄さん

私達で守る農業集落排水処理施設

毎月1回の見学会で利用者の理解促進 —安佐北区安佐町—

安佐北区安佐町の小河内地区農業集落排水処理施設管理組合は、地元の利用者を対象に、
処理場の施設や汚水の流入状況の見学会を昨年7月から実施し、施設の維持管理に効果を
上げています。

この処理場の見学に訪れた皆さんは、汚水に混入した野菜くずや布切れなどの異物を見
て「こんな物まで流れ込んで来るとは…。これから皆で気を付けなければ…」と驚かれて
いました。

☎建設部環境整備課(☎845-4349)



野菜の減農薬栽培で市長表彰

減農薬栽培を実践し、市場や消費者から高い評価を受けた市内3グループが、平成11年
5月11日、市長表彰を受けました。このグループは、安佐南区中筋野菜生産出荷組合(代
表：中川勝則さん)、同伴小物部会(代表：新谷良介さん)と同戸山地区野菜部会(代表：
岩森憲雄さん)です。受賞者の中川勝則さんは「農薬の散布回数を減らすことは難しいが、
市場等から高い評価を受けているので、これからも意欲的に作っていききたい」と語って
いました。

☎振興部指導課農産係(☎845-4376)



渡辺和裕さん所有(安佐北区安佐町)

さすがスーパーカウ 乳量は親ゆすり

本センターは、平成6年度から受精卵移植によ
るスーパーカウの増産に取り組んでいます。

現在8戸の酪農家で17頭の二世が誕生してい
ます。

初めてスーパーカウ二世から絞り始めた毛利和範さんは、「普通の牛は
日量30kgの乳量だが、このスーパーカウ二世は、40kgを軽く出している。
体格も大きくながっかりしている。さすがスーパーカウ」と頼もしい二世に
熱い視線を送っていました。



毛利和範さん所有(安佐北区安佐町)



山下敏三さん所有(佐伯区皆賀)



栗原 徹さん所有(安佐南区上安)



山根静雄さん所有(安佐北区安佐町)



岡崎博昭さん所有(安佐北区大林町)

☎振興部指導課畜産係(☎845-4378)

酪農家の皆さんと
自慢のスーパーカウ二世!



栗原利吉さん所有(安佐南区上安)



山根淳子さん所有(安佐南区戸山)



でっかい自然の躍動パーク!! 森林公園からのお知らせ

自然の優しさに包まれてふっと深呼吸...

季節の移り変わりを教えてくれる森の神秘。

心地よい鳥のささやきやめずらしい昆虫たちとの遭遇。

まばゆい緑の中、心地よいひとときを満喫できます。

秋には、開園10周年を記念した特別企画の「カナダの自然と昆虫展」を開催します。是非お越しください。 〔園〕**広島市森林公園**(☎899-8241)

カナダ・モントリオール市姉妹都市提携記念 「カナダの自然と昆虫」展 開催!

平成11年
10月9日~

非常に珍しい展示です。
是非ご来館ください。

広島市森林公園は、開園10周年とカナダ・モントリオール市と結んだ姉妹都市提携を記念し、10月9日(土)から11月28日(日)まで、こんちゅう館で特別展「カナダの自然と昆虫」を開催します。

この特別展は、モントリオール市のあるカナダの自然と、そこに棲息する様々な昆虫を展示します。

併せて、世界屈指といわれるモントリオール昆虫館も紹介します。

見に来てね!!



カナダからメキシコまで
3,000kmも渡りをする
チョウ「オオカバマダラ」



絶景かな山城展望台

好評です。モノレール

森林公園の鷹ノ巣山(標高438m)にある山城展望台からは、広島市の街地や瀬戸内海にかけての大パノラマが展開しています。山城は、中世の武将「毛利元就」が活躍していた時代、敵の攻撃を察知するための見張り小屋を再現したものです。中世の雰囲気に浸りながら、絶景の瀬戸内海を眺めてみませんか。

なお、展望台まではモノレールも利用でき、子供連れの家族やお年寄りの方々に大変好評です。

〈モノレール所要時間〉
片道 約7分
〈モノレール料金〉
大人200円・小人100円



振興部園芸課からのお知らせ

見に来てください。こんな試験をしています。

ひろしまそだちの特産化を推進するため、本センターでは、様々な試験研究を行っています。皆さん、是非見に来てください。

〔園〕**振興部園芸課**(☎842-4421)

高品質トマトの生産を 目的とした品種比較



甘くておいしいといわれる中玉系トマトの有望品種を検討しています。

《見ごろ》6月上旬~7月下旬

グルメ枝豆の品種比較と は種期試験



おいしいと評判のグルメ枝豆(茶豆系)の新品種の検討と、従来からある「みどりハニー」の早期出荷を目指した、は種期試験を行っています。

《見ごろ》7月中旬~8月中旬

キュウリの減農薬栽培試験



減農薬野菜の栽培法を確立するため、キュウリで防虫ネット栽培を行っています。

《見ごろ》6月中旬~8月下旬



あなたの経営改善をバックアップ

本センターは、さらに経営を発展・改善させたいと考えておられる意欲のある農業者を支援する「認定農業者制度」を推進しています。平成10年度に認定された11名はつぎの方々です。



下田 喜久夫さん (安佐南区)
 ～水稲生産の作業受託で地域に貢献～
 ・大型機械を購入し、稲作業受託を拡大
 ・ハウス増設と、地の利(夏の涼しさ)を活かした野菜生産



倉田 保正さん (東区)
 ～軟弱小物野菜で市場販売力UP～
 ・しゅんぎく、ホーレンソウ等の軟弱小物野菜を施設増設で生産拡大
 ・生産経費の見直しで経営効率アップ

(安佐南区) 田村 和好さん、高取 龍生さん、蓼丸 良孝さん、溝口 憲幸さん、中川 勝則さん、升本 光輝さん
 (安佐北区) 藤重 昭之さん、近森 猛さん
 (佐伯区) 谷口 進生さん

☎振興部指導課構造改善係(☎845-4347)

こんな花が咲きました

中近東からお嫁入り

中近東のヨルダンから導入した花が平岡卓三さん(安佐北区白木町)のハウスで開花しました。花市場「花満」に出荷したところ、好評を博し、「スーパーホワイトレース」という愛称が付けられました。

この花は、花茎が固く、花持ちも良いので幅広い用途が見込まれることから、「ひろしまそたち」の特産花きとして期待されています。

本センターは、昨年度、ヨルダンからこの花の種子を導入、試作・検討しているもので、今後は、作型・品質等、さらに検討を加えていく予定です。

☎振興部園芸課開発係(☎842-4421)



初出荷の花を手にする平岡卓三さん

流行のガーデニング素材

夏花壇の有望種 アンゲロニア

今、流行のガーデニングの中で、夏に花が咲きつづける有望な素材として注目されているアンゲロニアを紹介します。このアンゲロニアは直立性で高さ50～70cmになり、2cmほどの大きさの目立つ花を多数つけます。花色は、紫・白・双方のまだら模様と3種類あり、5月から9月まで咲き続けます。

花みどり公園では、現在、地元の花木生産農家へ普及するため、増殖に取り組んでいます。

☎広島市花みどり公園(☎837-1247)



ヒノキ苗の植林



間伐

森林ボランティアグループの紹介

我々も山の大切さを実感しています。

市民ボランティアによる森林づくりを推進するため、平成8年度から「もりメイト養成講座」を実施してきました。

この受講生の方々が中心となり、平成9年4月に「もりメイト倶楽部Hiroshima」を結成。現在、一般市民も加わり約100名の会員が、安佐北区白木町大椿地区の共有林を舞台に、枯れ松の伐倒・下刈り・間伐など森林づくりに一役買っています。

この倶楽部の見勢井 誠会長は「森林は市民の大切な財産。我々の生活に欠かせない水を供給してくれるほか、豊かな自然を提供してくれる。今後とも、農家等と地元交流を図りながら、参加者を募り、森林の持つ役割の勉強会を開き、少しでも貢献できるように楽しい活動を行っていきたい」と抱負を語っていました。

☎森林整備部森林整備課(☎899-1005)